

健康づくり推進協議会

令和7年度 第1回

保健事業の状況について

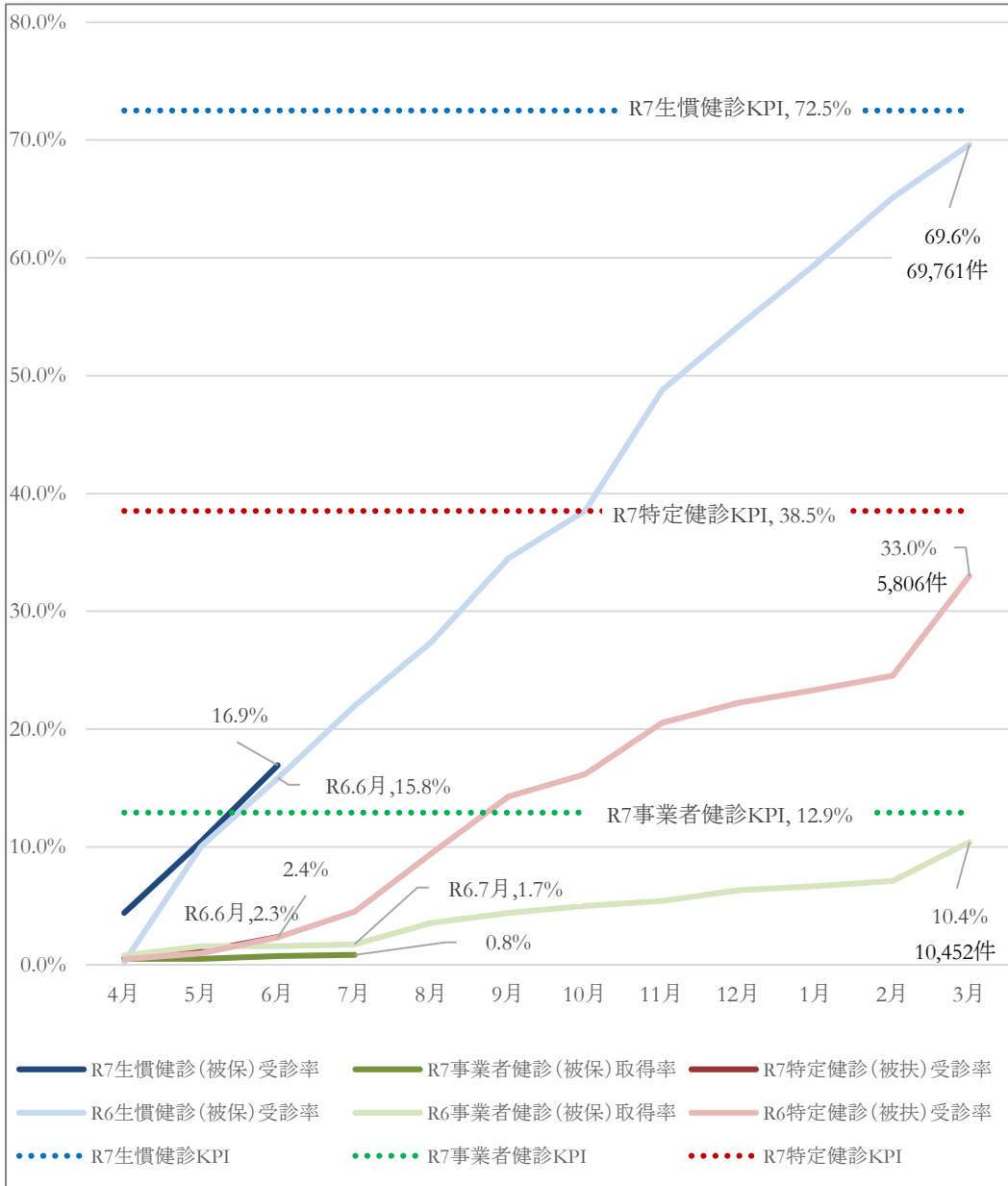
令和7年9月4日



全国健康保険協会 島根支部
協会けんぽ

1 健診事業の状況

40歳～74歳における各種健診受診率等 速報値ベース（R6年度末の数値のみ確定値を使用）



概要

令和6年度の被保険者健診について、生活習慣病予防健診の件数は69,761件でKPI 72.0%に対し69.6%、事業者健診の件数は10,452件でKPI 12.9%に対し10.4%でした。合計80,213件で受診率は80.0%で全国4位でした。

被扶養者健診については、件数は5,806件、KPI 38.2%に対し受診率は33.0%で全国9位でした。

被保険者と被扶養者を合わせた加入者全体の受診率は73.0%で全国3位でした。

令和7年度についても現在のところ同様に推移しております。

(参考)

健診対象者数 (KPI設定時点の見込み値)

生活習慣病予防健診・事業者健診・・・R6：98,736名、R7：100,182名
特定健診・・・R6：21,077名、R7：19,797名

2 健診事業に対する取り組み

(1) 生活習慣病予防健診の受診率向上に向けた取り組み

- ✓ 例年、予約が取りにくい状況にある県中部・西部地域5会場（大田市・江津市・吉賀町・浜田市・益田市）にて、集団健診を7月～8月にかけて実施することで、健診機会の提供を行っています。
- ✓ 新規契約機関の開拓として、受診率の低い県西部地域の2機関と契約に向けて調整中です。また、市町村と連携を図るために各市町村役場を訪問しており、その際に生活習慣病予防健診の実施が可能な医療機関の情報収集を行っています。

(2) 事業者健診結果の取得に向けた取り組み

- ✓ 令和6年度に生活習慣病予防健診未受診者または事業者健診データ未取得者が100名以上の事業所（12事業所）について、訪問による勧奨を行い、要因の聞き取りならびに解決に向けた施策を進めていきます。
- ✓ 外部委託業者の勧奨により、紙の健診結果の提供依頼を行う対象を拡大し、従来から行っていた同意書等取得済みの事業所への依頼に加え同意書等の取得ができていない事業所に対して実施することにより新たな提供事業所の開拓を行います。

(3) 特定健診の受診率向上に向けた取り組み

- ✓ 協会主催による集団健診として、第1期～3期の健診を実施します。各期共通で、協会独自のオプション健診として眼底検査と骨粗鬆症検査を行い、第3期では、がん検診を同時実施する予定です。
- ✓ 今年度からの取り組みとして、第1期集団健診の勧奨チラシに4コマ漫画※を掲載することで未受診者への受診意欲向上を図りました。また、第1期、2期集団健診では、出雲市および松江市のみ結婚式場を健診会場として選定しました。

※p.11を参照

3 保健事業の一層の推進について

医療費の適正化及び加入者の健康の保持増進をより一層推進するうえで、現役世代への取組を強化する観点から、令和8年度は以下の取組を実施します。

令和8年度

人間ドックに対する補助の実施

- 年齢や性別による健康課題に対する健診の選択肢の拡大と、より一層の健康意識の醸成及び実施率の向上を図るため、35歳以上の被保険者を対象に一定の項目を網羅した人間ドックに対する定額補助（25,000円）を実施。
- 円滑な制度開始及び健診実施機関の質の確保の観点から、人間ドック補助実施機関は、全日本病院協会、日本総合健診医学会、日本人間ドック・予防医療学会／日本病院会等が実施する第三者認証を取得していることを条件にするほか、特定保健指導の実施体制を有すること等を条件とする。

若年層を対象とした健診の実施

- 就業等により生活習慣が大きく変化する若年層に対して、早期に生活習慣病対策を行うことや健康意識の向上等を目的に生活習慣病予防健診に新たに20歳、25歳、30歳の被保険者も対象とする。
- 検査項目については、国の指針等を踏まえ、生活習慣病予防健診の項目から、胃・大腸がん検診の検査項目を除いたものとする。

生活習慣病予防健診の項目等の見直し

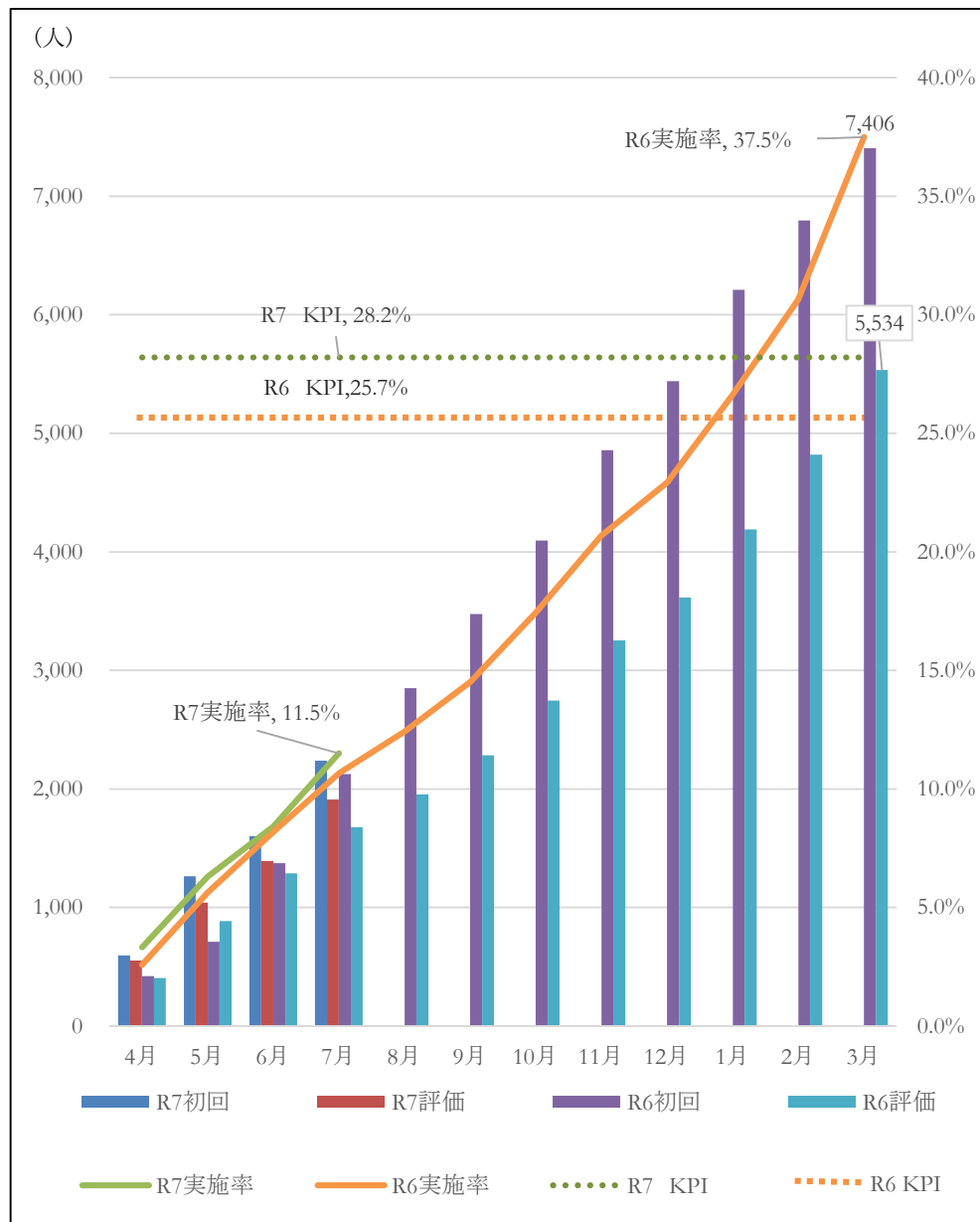
- 健康日本21（第三次）の内容等も踏まえ、40歳以上の偶数年齢の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施する。
- 生活習慣病予防健診の検査項目や健診単価については、協会発足以来、見直しを行っていないことから、国の指針やマニュアル、人件費の高騰や診療報酬改定等を踏まえ、健診の内容及び費用について別途検証・見直しを行う。

なお、協会けんぽの人間ドックの実施機関の条件として、上記第三者認証の取得の他に、

- ・協会けんぽの生活習慣病予防健診を実施可能であること。
- ・人間ドック健診を受診した特定保健指導該当者に対し、特定保健指導の初回面談を健診当日に実施し、かつその継続的支援及び実績評価まで実施できる体制を有していること。

が必須となるため、今年度生活習慣病予防健診の契約を交わしている55機関に働きかけを行っており、11機関から参加の意向が確認できている状況です。

4 特定保健指導の状況



概要

令和6年度の実績評価率は37.5%であり、KPI 25.7%を大きく上回ることができ、全国2位でした。令和7年度においても6年度を上回っています。

特に、被保険者において、対象者の目の前で声をかけることができる健診機関での当日保健指導が、令和5年度に比べ約3倍伸びています。

健診機関で保健指導を受けなかった方については、後日、事業所経由で案内しています。

保健指導対象者全員に案内はできており、そのうち50.2%の方は保健指導の面談を受けていただいています。令和7年度の面談率においても同様の水準で推移しています。

左記グラフのうち被扶養者の特定保健指導については、令和6年度において初回面談228人、実績評価172人で実績評価率は37.1%で全国1位でした。

5 特定保健指導に対する取り組み

(1) 健診機関での当日実施の取り組み

- ✓ 令和8年度から人間ドックを開始するにあたり、当日保健指導が必須となることから、新たに6機関が新規契約予定となっています。
- ✓ また、健診当日の保健指導実施については事業所からのニーズも高く、体制整備に向けて健診機関の保健指導者のスキルアップを目的に、外部講師を招き研修を開催します。
令和7年9月26日午後 講師 島根県立大学看護栄養学部 准教授 小川 智子 氏
- ✓ 研修には、直営保健師等も参加し、組織を超えて保健指導者がお互いにスキルアップができ、意見交換ができる場となっています。

(2) 直営保健師・管理栄養士の取り組み

- ✓ 島根県旅客自動車協会と連名で、道路貨物運送業の事業所に保健指導の受け入れについて、依頼を行いました。
- ✓ 従業員が多い事業所には、管理職と保健師が訪問し直接依頼しています。
令和6年度 7事業所訪問 、令和7年度 20事業所を訪問予定
- ✓ 保健師・管理栄養士のスキルアップを図るため、外部講師にアドバイスをいただくなど、年6回開催しています。
- ✓ 県西部に直営保健師を採用しました。保健指導の実施率は、専門業者よりも直営のほうが高く、隠岐についても専門業者へ委託することなく、後日実施は、すべて直営で実施可能となりました。

6 重症化予防対策

未治療者の受診勧奨

概要		
健診で、血圧、血糖、脂質の3項目で要治療と判定された方について、早期に医療機関を受診し適正な医療を受けることで、重症化の予防を図ります。 令和7年度から生活習慣病予防健診に加え、事業者健診と被扶養者の特定健診についても勧奨対象を拡大しています。 KPI 健診後～10か月以内の受療率 36.5% (R5)		
〇次勧奨 健診から1か月以内の早い段階で、健診機関の保健師等から受診勧奨を行うことで、受療を促します。 令和6年度は、健診機関12機関に委託し、831人に勧奨を行いました。 令和7年度は、業務内容を見直し、受診が確認できるまで2回以上勧奨をするようにしました。また、被扶養者の集団健診についても受診勧奨を実施します。	直営保健師による面談 特定保健指導の面談に合わせて、腹囲にリスクはないが、血圧、血糖、脂質が要治療判定の方にも声をかけ面談しています。 一次勧奨 健診から6か月後に、まだ医療機関を受診していない方5,500人に文書で受診勧奨を行います。	二次勧奨（令和7年度追加） 健診から6か月以降に、業務委託先の保健師等から事業所を経由し受診勧奨を行います。 令和7年度に電話勧奨2,770件を予定しています。

糖尿病性腎症重症化予防対策

概要	令和5年度保健指導前後の健診結果 n=29有意差なし				
糖尿病性腎症のリスクを保有している加入者を対象に、腎機能低下の遅延及び人工透析導入の予防または人工透析の導入時期を1年でも遅らせ、医療費を抑制することを目的としています。 令和6年度は対象となった1,202人に案内を送付し、31人が保健指導に参加しています。（参加率2.6%）	検査項目	指導前	指導後	差	改善
	収縮期血圧	135	133	-2	○
	拡張期血圧	80	79	-1	○
	空腹時血糖	141	123	-23	○
	中性脂肪	146	117	-29	○
	L D L	119	108	-11	○
	e G F R	61	61	0	

7 健康宣言事業所の状況

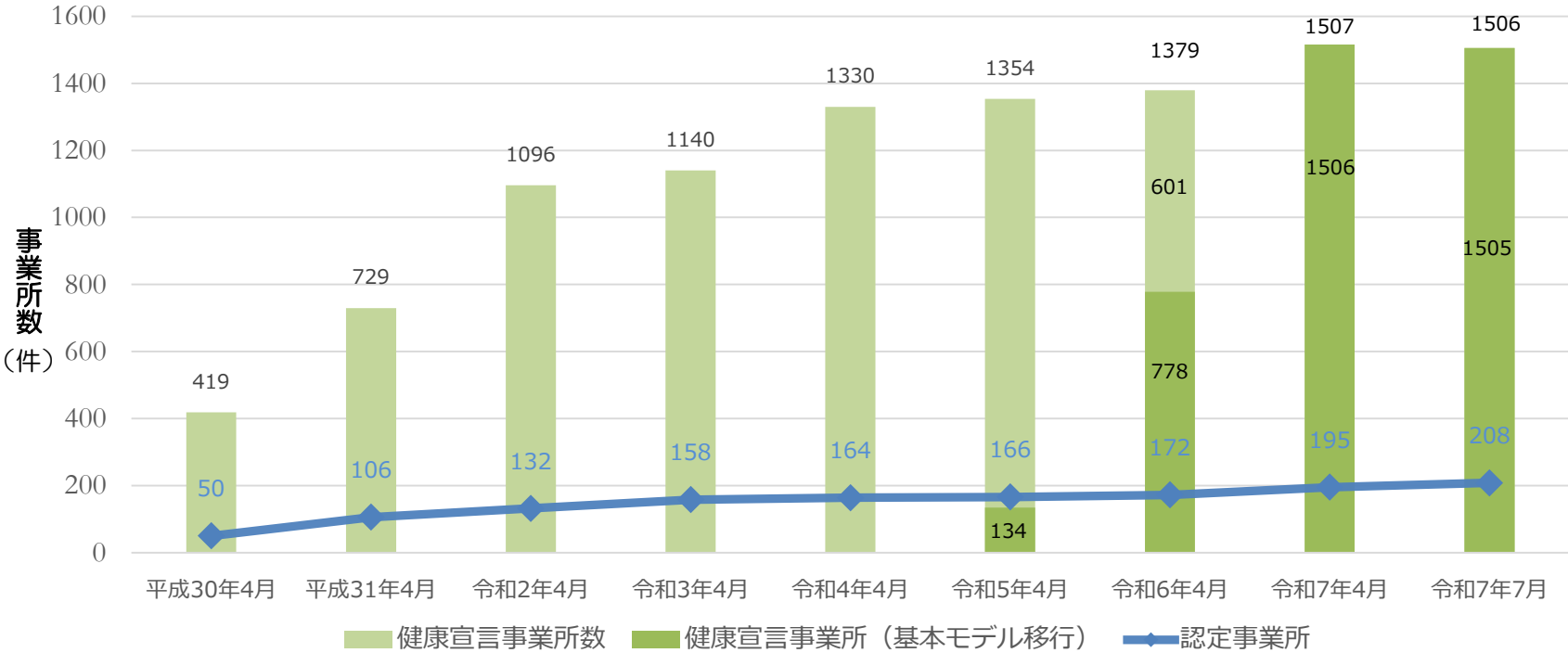
(1) 健康宣言事業所数及び認定事業所数

(令和7年7月末時点)

	事業所数	事業所カバー率	被保険者カバー率
健康宣言事業所	1,506件	11.6%	47.3%
基本モデル移行	1,505件	11.6%	47.3%
ヘルス・マネジメント 認定事業所	208件	1.6%	12.0%

※ 事業所カバー率および被保険者カバー率算出のための事業所数・被保険者数は、令和7年6月30日時点の数値です。

【事業所数の推移】



8 健康宣言事業所に対する取り組み

(1) 未健康宣言事業所の新規拡大に向けての取り組み

- ✓ 令和3年度～5年度の被保険者健診受診者数（35歳～74歳）が10名以上の事業所へ文書による勧奨を行っています。（673件勧奨）
- ✓ 文書勧奨の結果、エントリーシートの提出のない事業所のうち、健康保険委員が登録されており、被保険者健診受診率が80%未満の事業所へ電話勧奨を実施する予定です。（最大49件）

(2) 健康宣言事業所への健康サポート支援の取り組み

- ✓ 健康宣言エントリー事業所へ全4種類の健康測定機器レンタルや全18講座の出前講座を実施しています。今年度は、運動に関する講座の一部が新しくなっています。
- ✓ 令和7年9月18日に健康経営セミナーを行います。
- ✓ 食習慣改善に関するポスター※を作成し、宣言事業所へ送付しました。（「けんこらぼ」（令和7年7月号）に同封）
※p.12を参照

(3) ヘルス・マネジメント認定に向けての取り組み

- ✓ 健康宣言事業所で、過去認定済みだったが非更新となった事業所を含め、ヘルス・マネジメント認定事業所でない1,298事業所へ認定のご案内を送付しました。（事業所カルテ等に同封して送付）

9 その他の取り組みについて

（１）ウォーキングイベントの実施

令和7年9月1日から12月31日まで、島根県と共催でウォーキングイベント「謎解きウォークラリーしまねクエスト2025」を開催します。

コース：安来市・雲南市・津和野町

参加費：無料

※広報チラシはp.13を参照

（２）各種分析業務

- ・健康経営比較分析

健康宣言の有無およびヘルス・マネジメント認定の有無における生活習慣病リスク保有割合等の経年比較分析を実施。

- ・血糖リスク保有割合の地域要因分析

島根支部の課題である「血糖（代謝）リスク」について、規模や気候条件等が近いにも関わらずリスク保有割合が低い鳥取支部と比較し要因分析を実施。

参考資料

料金後納
郵便

〒690-8531
松江市殿町383 山陰中央ビル
全国健康保険協会 島根支部
組合ビル内

協会けんぽのご家族様(40～74歳)へ

集団健診のご案内

この集団健診は、日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防を目的として被扶養者様(ご家族様)に受けていただく特定健診です。年度内におひとり様一回につき、健診費用を補助しております。この機会にぜひお申込みください！

大切なご家族のために健診を受けましょう！～40代女性のお話～



検査内容は？

健診費用無料 (一部検査を除く)

基本的な健診項目

● 診察
(問診・触診等)



● 身体計測



● 血圧測定



● 尿検査



● 血液検査



オプション健診

● 眼底検査



● 骨粗しょう症
検診



● 貧血検査

指定項目に加えて無料実施します

この集団健診限定！

特定保健指導

生活習慣の改善が
必要な方は健診当日に
無料で受けられます



- 被扶養者様(お勤めの方)の登録住所へお送りしています。被扶養者様(ご家族様)とお住まいが別の場合は、被扶養者様へお送りくださるようお願いいたします。
- 今年度既に受診済み、またはご予約済みの方へご案内している場合があります。行き違いのご案内ですのでも可幸ご容赦ください。
- 令和7年度は、令和7年10～11月、令和8年2～3月にも集団健診を予定しています。令和8年2～3月は「がん検診」を併せて実施する予定です。
- この他に大腸がん検査等の有料オプション検査も実施します。事前申込制となりますので、詳しくは健診実施要綱(一般被扶養者 エイム健診版)へお尋ねください。

詳しい日程は裏面をご覧ください！

歩いた先にあるのは、謎とクイズ。
全てを解き明かして、
プレゼントに応募しよう！



しまねウォーク2025

SHIMANE QUEST 2025

参加
無料

謎解きウォークラリー

名探偵と怪盗Xからの挑戦状

2025.9.10・12.31

抽選で153名様に
賞品プレゼント!

特設WEBサイトはこちら!
スターと地球儀のコースの詳細情報
や賞品は特設サイトでご確認ください!

